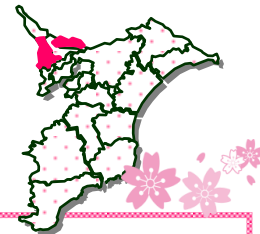


松戸保健所感染症情報



2016年 4月

(2016年4月14日配信)

●●海外に渡航される際に注意しましょう!!●●

海外ではさまざまな感染症が流行しています。海外旅行に行く前に、流行している感染症を把握して感染予防対策をしましょう。旅行前に相談したい場合(予防薬や予防接種等)はトラベルクリニックで相談できます。

◀旅行中に注意したいこと▶

- ★生水・氷・カットフルーツを食べることは避けましょう。 ★食事は十分火の通ったものを食べましょう。
- ★動物は狂犬病、MERSや鳥インフルエンザなどのウイルスをもっていることがあるので、むやみに触らないようにしましょう。
- ★手を石鹸・流水で洗いましょう。水道や石鹸が無い場合も多いので、消毒用ジェルの利用も検討すると良いでしょう。
- ★ラクダはMERSコロナウイルスをもつ中間宿主であることが分かっています。ラクダと接触する機会がある旅行行程については、よく検討してください(ラクダとの接触や未殺菌のラクダ乳の摂取は自ら危険に近づくようなものです。ラクダとの接触がある場合は、検疫官へ報告することが必要になります。)



○中東呼吸器症候群(MERS-CoV)感染症に関する注意: <http://www.forth.go.jp/news/2015/06171653.html> (FORTH)

★蚊が媒介して感染する病気(ウエストナイル熱、チクングニア熱、デング熱、日本脳炎、ジカ熱、マラリア)の予防策

- ☆蚊に刺されそうな場所では長袖、長ズボンなどの露出が少ない服装にしましょう。
- ☆虫よけスプレー、シート、クリームなど、虫よけ効果のある薬剤を使用しましょう。

○ジカウイルス感染について: <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

※ブラジルにおいて小頭症の新生児が増えており、ジカウイルスとの関連が示唆されています。妊婦はジカウイルス感染症が発生している地域への渡航をしないよう勧告されています。男性から女性パートナーへの性行為による感染伝播が疑われる事例があります。流行地から帰国した男性は行為を控えるか、コンドームを使用することを推奨しています。

◀帰国時・帰国後に具合が悪くなら▶

帰国時に発熱や下痢などの症状がある方は、必ず検疫所にご相談ください。また、帰国後に症状が出た方は、病院受診の際に渡航歴症状が出た時期を必ず話してください。

○渡航先で流行している感染症について: 新着情報: <http://www.forth.go.jp/topics/fragment1.html>

最新ニュース <http://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/index.html> (療関係者向け)

○渡航関連情報: 世界の医療事情: <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html> (外務省ホームページ)

◆麻しんに注意しましょう。

麻しんは毎年春から初夏にかけて流行が見られます。平成27年3月27日、世界保健機関西太平洋地域事務局により、日本が麻しんの排除状態にあることが認定されました。感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2~3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。そこで麻しんワクチンが有効な予防法といえます。また、麻しんの患者さんに接触した場合は、かかりつけの医師にご相談ください。

○麻しん: http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/kekaku-kansenshou21/index.html (厚生労働省ホームページ)

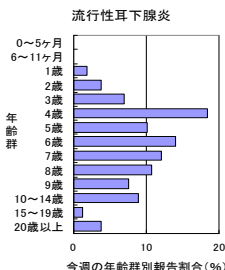
★国立感染症研究所より、新しく「医師による麻しん届出ガイドライン 第五版」と「医療機関での麻疹対応ガイドライン(第五版)」が発表されています。麻しん対策に従事される関係者の皆様におかれましては、ご一読の上、地域の麻しん対策にお役立て下さい。

○麻しん届出ガイドライン・麻疹対策ガイドライン: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/guidelines.html> (国立感染症研究所ホームページ)

○麻しん対応マニュアル・麻しん対応指針: <http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/tebiki/mashin-shishin.html> (千葉県)

◆流行性耳下腺炎

2016年12週の県全体の定点当たりの報告数は、11週の1.23から僅かに減少し1.16となりました。過去5年の同時期と比較し多く、今後の流行状況に注意が必要です。松戸保健所は定点当たり0.75でした。



◆松戸保健所管内の結核新規登録者数

(3月分)

	活動性肺結核		活動性肺外結核	潜在性結核感染症
	喀痰塗抹陽性	菌陰性その他		
松戸市	0	1	3	2
流山市	0	2	0	0
我孫子市	0	0	0	0
計	0	3	3	2



◆感染症発生状況(3月分)・・・全数報告届出分

- 2類感染症 / 結核 11件
- 3類感染症 / 腸管出血性大腸菌感染症1件 4類感染症 / 0件
- 5類感染症 / アメーバ赤痢 2件 侵襲性肺炎球菌感染症 1件
- カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1件 急性脳症 1件 梅毒 1件
- ◀集団発生▶ インフルエンザ:6件・感染性胃腸炎:0件
- ★4月から新体制になりますので、マニュアル等の確認をして確実に感染症予防策を行ってください。

◆予防接種はお済みですか？

新年度になり、保育所・幼稚園・学校等では新しいメンバーを迎えていると思います。集団生活では、感染症が発生した際に予防対策がとられていない場合、感染が拡大するおそれがあります。各施設においては、職員を含めた予防接種歴(必要に応じて抗体価)の確認、および未接種者への接種勧奨等を徹底してください。

○日本の小児における予防接種スケジュール(国立感染症研究所)スケジュールを確認し、適切な時期に接種しましょう

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/rubella-preschedule.html>

◆ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん予防ワクチン)相談窓口

感染症・予防接種相談窓口 4月1日子宮頸がん予防(HPV)ワクチンを含む予防接種、インフルエンザ、性感染症、その他感染症全般についての相談にお応えします。電話番号 0422-70-1485 (厚生労働省※委託機関が行っています。)

受付日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 (土日祝日、年末年始を除く)

